

U=U Japan Project

- **U=U Japan Project**は、**U=U**（UNDETECTABLE=UNTRANSMITTABLE：HIV陽性でも良好な治療状況でウイルス量検出限界未滿ならHIV陰性のパートナーへの感染は一切ない）というメッセージを日本により広く届けるために**2018年12月に発足した個人有志の団体**です。
- **U=U**を日本文化に合った形に咀嚼して日本社会に広げ、世界と共に**HIV**に対する差別・偏見と感染拡大の終焉を目指します。

【当面予定している主な活動】

- HIV感染症に関わる医療・公衆衛生の基礎・臨床・社会系の専門家と協働
- 信頼性のある最新かつ分かりやすいメッセージを広く社会に向けて発信
- U=Uの日本語キャッチ公募
- U=U専用のウェブサイトの制作・公開及び広報

■呼びかけ人（敬称略）：井上洋士（HIV Futures Japanプロジェクト／国立がん研究センター）、大北全俊（東北大学医学系研究科）、山口正純（武南病院）

■2018年11月18日時点賛同者（除呼びかけ人・敬称略）：生島嗣、高久陽介、白阪琢磨、塩野徳史、岩橋恒太、宮田りりい、岡本学、戸ヶ里泰典

U=Uのキャンペーンは2016年、主に米国からはじまり、今では世界100ヶ国ほどにU=Uの理念を共有するコミュニティが存在します。日本でもすでに2つの団体（ふれいす東京, MASH大阪）が参画しています。国際的に実施された主に4つの研究（HPTN052(2015), PARTNER 1(2016), Opposites Attract Study(2017), PARTNER 2(2018)）によって、U=Uの科学的根拠が示され、HIVに関わる各国（米国CDC, NIHなど）及び国際的な専門機関（UNAIDSなど）や研究者が数多く支持しています。